



学びの多様化学校をご存知ですか？

子どもたちの「行きたい！」を叶える、新しい学校のカタチ

「子どもが学校に合わせる」から、「学校が子どもに合わせる」へ



これまで：子どもが学校に合わせる



これから：学校が子どもに合わせる



文部科学大臣が特別に指定した公的な学校です。(いわゆる不登校特例校)

例：年間授業時数を「約2割削減」。
心と体に必要な「ゆとり」を生み出します。



不登校の児童生徒の状況に合わせ、
独自のカリキュラムを組むことができます。

全国へ広がる「学びの多様化学校」の輪

将来的には、国全体でサポートを進め
全国 300 校の設置を目指しています！

令和8年4月現在

全国 84 校

(小学校：17校 / 中学校：62校 / 高校：14校)

※ 義務教育学校を小学校1校、中学校1校と数えているため合計不一致

「学びの多様な学校」の教室例

教室の枠にとらわれない、リラックスできる空間



心と体に「ゆとり」を生むスケジュール

宮城県白石市立白石南小・中学校（白石きぼう学園）の例



登校時刻：9時20分

午前3時間

授業中の休憩や
気分転換もOK！

午後2時間授業

教室が難しい時は
別室や図書ブースで
のんびりしてもOK！

下校時刻：14時50分

一人ひとりのペースに合わせた学び直し

新設教科「白石タイム」(週4時間の個別指導)



白石きぼう学園の例(個別指導の様子)

「分かる」まで学べる経験
(進むことより、理解することを大切に)

一人ひとりの現状に合わせた個別指導

学年をさかのぼった学習OK
(未学習や苦手分野にしっかり対応)



白石きぼう学園の例
(少人数指導の様子)

「好き」や「興味」を軸にした探究と体験

総合的な学習の時間での取り組み

白石きぼう学園の例



探究活動：子ども自らが計画を立て、校外学習などで調べ、解決する時間をかけた学習。



豊かな体験活動：人との関わりを重視。地域の人と協力して食について学び、月2回の昼食作りなどを実施。

白石きぼう学園の子どもたちの声

しぼりがなく、
楽になれる。
学校の雰囲気がいい。

学校に居場所ができた。
学校に行くことに
前向きになった！

授業が分かりやすい、
分かるとうれしい。
前より勉強するよう
になった。

先生や友達がみんな
優しい、認めてくれる。
話せるようになった。



行事が楽しい、
自分で選んで
できることが増えた。

家庭に笑顔が戻る。保護者の声

白石きぼう学園の保護者の声

表情が明るくなった。
学校へ行けなかったことが
不思議なくらい。

家庭での会話が増え、
家族も明るくなった。



毎日楽しいと言って
帰ってくる。自分で選択
する経験が自信になってい
るようだ。

少しずつ将来の
ことを考えられる
ようになってきた。

「学びの多様化学校」は、子どもたちの希望の場所です

(例)白石きぼう学園
「めざす学校像」

- ・ 児童生徒が 心から
「行きたい」と思う学校
- ・ 保護者が 心から
「通わせたい」と思う学校
- ・ 地域の方が 心から
「応援したい」と思う学校

